

一生成香 No5 「難しい職業奉仕のやさしい話」 その1

研修リーダー 菊地 平

五大奉仕の中でも判りにくい職業奉仕について考えて見ましょう。

社会奉仕は良く聞く言葉ですが、職業奉仕はロータリーだけの専用用語といえます。

「職業」と言うものは、私たちが生きていくための所得を得る手段であって、これは「自分のためのもの」であり「奉仕」と言うものは、世のため人のためのもの、自分以外の「人のためのもの」です。

このように、エネルギーの方向が反対の二つの言葉を一つに合体させて職業奉仕と言っているのですから判りにくいはずですが。ロータリーの5つの奉仕の中で、一番判りにくいのが、職業奉仕で、判ったようで、どうも判らないとよく言われます。それは何故か、それは、自分の職業をどう考えるか?と言う事にあるので はないでしょうか？

ロータリーでは、職業奉仕の事を、ボケーションナルサービスと言っています。ボケーションとは神に召されるという意味ですから、日本でよく言う天職という考え方と同じで、こう考えると初めて自分の仕事に誇りと喜びを感じることが出来ると思います。

そこで、ロータリーの職業奉仕は、自分自身を省みて、自分はこのロータリーの職業観に徹しているかどうかの反省から出発する必要があると思います。

そのこともあってか会員は一業種一人と決められていたのです。

「職業奉仕とは、職業を通じて社会に奉仕することである」と言う人が居ますが、これは誤解です。例会で時に作業服から着替える閑も無く例会に飛び込んで来た会員に「職業奉仕だったのですね」と冗談を言う人が居ますが、これこそ冗談なのです。

例えば、医師が地域医療で無料奉仕をします。これは職業を通して社会に奉仕しているから、職業奉仕だと言いたいのですが、これは間違いなのです。職業を通して「社会に奉仕」しているのですから社会奉仕なのです。

一般的に言って、職業奉仕と社会奉仕の簡単な区分は「受益者が誰か？」ということなのです。

ロータリアン以外の人受益者になるのを社会奉仕、ロータリアン自身受益者になるのを職業奉仕といいます。ですから無料診療の受益者は、ロータリアン以外の人ですから社会奉仕になります。

また、「私は職業奉仕が忙しいから、例会には出席できません」と言う人が居ま

すが、勿論冗談で言っていると思いますが、「職業奉仕を实践する為にまず例会出席」と言うのがロータリーなのです。

それは、ロータリー運動が倫理運動だからなのです。

偉そうなことを言つてと。思います。27年続けた会社を潰したのですから反省の上に立って、続きを書いてみます。百人百様の意見あるのがロータリーです。どうぞご意見ください。